



2025 Super **FJ** Japan League Rd.2



Super FJ もてぎ・菅生シリーズ 第2戦

SUGO CHAMPION CUP RACE

2025年5月11日 スポーツランド SUGO 天候:晴 参加13台



スーパーFJ ジャパンリーグ第2戦は、5月11日にスポーツランド SUGO で開催された。

3月30日に岡山国際サーキットで幕を開けたジャパンリーグでは、#22酒井翔太選手が優勝を飾っている。ちなみに酒井選手は、この週末、F-Be と F110 CUP2戦にもエントリーしており、合計4レースを戦うことになる。

公式予選

前日の雨から打って変わって、スポーツランド SUGO は5月らしい爽やかな気候で気温20度、路面温度30度の好コンディションとなっていた。

13台がコースインして15分間の予選がスタート。各車ウォームアップを終えると、まずは#22酒井選手(ファーストガレージ制動屋)が1分29秒388でトップに立ち、2番手には1分29秒933で#3KODAI YOSHIDA 選手(T's TECHNO RF KKS II)が続く。

#3 YOSHIDA 選手は続く周回で、1分29秒209をマークしてトップに立ち、さらに#6吉田馨選手(TAKE FIRST kks-2)が1分29秒328で2番手に上がるが、#22酒井選手もすかさず1分29秒040とトップタイムを更新。4番手には#53石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 SII)が1分29秒

586で上がってくる。

残り10分を切ったタイミングで、#82三ツ井光輝選手(群馬トヨペット Team RiNoA ED)が1分28秒305を出してトップに立ったのと、ほぼ同じタイミングで#53石井選手がSPアウトコーナー出口でスピン、グラベルで停止して動けなくなる。ただちに赤旗が提示されて予選は中断。

ここまでの順位は#82三ツ井選手、#22酒井選手、#3 YOSHIDA 選手、#6吉田選手で、#53石井選手は5番手につけているものの、赤旗の原因となったため、ここまでのタイムは抹消されるので、実際の5番手は#57中村ブンスーム選手(ファーストガレージ KKSII)となる。

車両回収が済み、残り時間8分49秒から予選は再開。各車あらためてタイヤのウォームアップを行いタイムアタックへ。まずは残り6分、#57中村選手が1分28秒854で2番手に浮上すると、さらに残り2分40秒で1分28秒043までタイムを削ってトップに躍り出る。2番手は#22酒井選手で1分28秒181、#82三ツ井選手は3番手に後退。そして残り1分を切ろうかというタイミングで、#14松原将也選手(ZAPMARUTOKU10VED)が1分28秒206を記して3番手にポジションを上げる。

チェッカーフラッグが振られる中、#53石井選手が最後に1分28秒435で6番手に滑り込み、#57中村選手、#22酒井選手、#14松原選手、#82三ツ井選手、#6吉田選手、#53石井選手という順に。#57中村選手にとって、フォーミュラカーレースで初めてのポールポジション獲得とした。

また、今回1台のみ出場のジェントルマンクラスでは、#38畠山退三選手(Hobbybace & zap-ED)が11番手となった。

ポールポジション：#57中村ブンスーム選手(ファーストガレージ KKSII)

「昨日の練習走行からいろんなセットを試してみて、タイヤも新品入れて、セッティングはこれで決まり、という感じでした。今日の予選も、満足のいくラップではなかったですが、調子いい状態にクルマも自分も持ってこられたので良かったです。これもチームの皆さんがクルマを作ってくれたおかげなので、皆さんの期待にそって優勝できるように、酒井選手は手強いので負けないように頑張ります」



予選2番手：#22酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)

「チームメイトにやられてしまいましたが、チーム全体が速くなっているので、それはいいことかなと思います。週末通して中村選手は速かったのですが、決勝ではフロントロウに並べたので、序盤からのペースは僕の方があると思うので、そこはバトル負けしないように、勝ちに行こうと思います」



予選3番手：#14松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)

「昨日、一昨日と比べて風が吹いていて、路面にゴミがたまっていたようで、すごくスリッピーでした。赤旗でピットに戻ってきた時にリヤを滑らないようにセッティングしたんですが、ベストラップが出た周も滑ってしまいました。電光掲示板でポジションが見えるので3番手なのはわかっていましたがトップとコンマ2秒差以内とは思ってなくて、もっと差があると思っていました。決勝は路面がどうなっていくかわからないですが、練習から調子は良くて優勝も狙えると思いますので、もてぎ(酒井選手に敗れ2位)の雪辱を果たしたいと思います」





決勝レース

SUGO チャンピオンカップレースとしては2デイベントではあるものの、スーパーFJ としては予選、決勝を日曜日のうちに行う1デイベント。したがって予選終了から3時間半後には、もう決勝のスタート進行を迎えることになった。

12時45分にフォーメーションラップ開始。時おり陽が陰る時間があり、気温は予選の時と変わらず20度だが、路面温度は39度まで上昇。依然として風が強くメインストレートでは追い風、バックストレートでは向かい風となっていて、合わせ込みが難しいとの声も。

ポールシッターの#57中村選手を先頭に12週の決勝がスタート。蹴り出しが良かったのは3番手スタートの#14松原選手で、やや加速が鈍かった#57中村選手の背後につけて、2番手スタートの#22酒井選手と並走する。だが、#22酒井選手にも勢いがあり、1コーナーに向けて#57中村選手のインサイドにノーズをねじ込むも、#57中村選手がトップを守ってターンイン。#22酒井選手、#14松原選手が続いていく。後方で出足が良かったのが5番手スタートの#6吉田選手で、3コーナーまでに#82三ツ井選手をかわして4番手にポジションアップ。さらに6番手#53石井選手も、#82三ツ井選手を仕留めて5番手に。

トップの座を守った#57中村選手ながら、4コーナーへの進入でバランスを崩して痛恨のスピン！ 再スタートは切るも、最後尾まで順位を落としてしまう。後方では#82三ツ井選手が#53石井選手に接触、両車が失速する間に、8番手スタートの#43五十嵐文太郎選手（Drago CORSE）が4番手に順位を上げる。

これでトップには#22酒井選手が立ち、#14松原選手、#6吉田選手、#43五十嵐選手、#53石井選手……という順でバックストレートを通過。馬の背コーナーへのブレーキングで、#53石井選手が#43五十嵐選手をアウトからかわして4



番手へ浮上する。さらに最終コーナーで#14松原選手のラインがワイドになったのを見逃さず、#6吉田選手がイン側から立ち上がりの加速で前に出て、2番手を奪い取る。

1周目を終え、トップ#22酒井選手は2番手の#6吉田選手に1秒2の差。3番手の#14松原選手は#6吉田選手と並走し、コンマ1秒にも満たない差で2周目に入るが、4コーナーでアウトに大きくはらみ、逆にポジションを落としてしまう。これで#53石井選手が3番手、#43五十嵐選手が4番手、さらに#3 YOSHIDA 選手が5番手に上がる。

トップの#22酒井選手は毎ラップ最速タイムを更新して、着実にリードを拡げていくが、5周目に#6吉田選手がセクター2、3でベストタイムを刻むと1分28秒255と、その時点でのファステストラップを記録して、#22酒井選手とのギャップが2秒を切るまでとなる。

その後も#6 YOSHIDA 選手が#43五十嵐選手にプレッシャーをかけ続け、サイド・バイ・サイドでメインストレートを駆け上がってくるが、#43五十嵐選手のノーズが僅かに前で7周目を終えると、再び1コーナーで攻防を繰り広げ、イン側の#43五十嵐選手が抑える。そして1周目のスピンで順位を落としていた、#57中村選手が次々とポジションを取り戻し、6周目に6番手を争う集団に追いつくと、7周目に7番手に上がり、6番手の#36小林留魁選手(アルビ新潟第一ホテル GIAED)にコンマ3秒差にまで詰め寄った後に8周目にオーバーテイク。6番手とジャパンリーグのポイント圏内まで上がってきた。

#22酒井選手のペースはその後も衰えを知らず、ファステストラップを更新し続け、9周目にはレコードタイムすら更新する、1分27秒712をマーク！ 2番手との差を3秒まで拡大すると、もはや安全圏と見たか、わずかにペースを落とす。それでも#6吉田選手との差をさらに拡げ、4秒226もの差でフィニッシュ。各地のスーパーFJ シリーズにまたがる5連勝、ジャパンリーグにおいても2連勝を飾った。

2位には#6吉田選手が、そして3位で#53石井選手が続き、#43五十嵐選手と#3 YOSHIDA 選手の激しい攻防は最終ラップまで続いたものの、#43五十嵐選手がコンマ170秒差でしのぎ切って4位に。#3 YOSHIDA 選手が5位、そして追いつけてきた#57中村選手が6位となった。

そして、ジェントルマンクラスでは、#38畠山選手が予選よりひとつ順位を上げて、10位完走を遂げていた。



表彰台の3名。但し、優勝の酒井選手は次のレースの為に代理で佐々木孝太氏が元々よく受賞

優勝：#22酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)

「チームメイトのブンスーム選手が単独スピンで、自分がトップという形になってしまったのですが、運は良かったのかなという気はします。ただ前に出たら、抜かれることはないという自信はあったし、吉田選手も後ろにいたので、気を緩めることなく最後までプッシュできたと思います」

2位：#6吉田馨選手(TAKE FIRST kks-2)

「もっとペースが上げられるかと思っていたのですが、厳しい感じでした。酒井選手のペースが終始上回っていたので、こちらも限界まで攻めていたのですが、自分の精度が悪くてけっこうミスもあったので、次はもっと精度を上げたドライビングをしていけたらと思います」

3位：#53石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 SII)

「ミスがあったり、接触もあったりしたので、それがなければペースも良かったんですが……。 (2周目に松原選手と)接触がなければ、と思うと悔しいですね。あれで2位の吉田選手との間が開いてしまいました。久しぶりの表彰台ですが、まだ上位との差がありますし、優勝と最終目標であるチャンピオンに向けて頑張ります」



2025 SUGO Champion Cup Race Series Rd.2

2025.5.10-11

2025 JMRC TOHOKU SERIES Rd.2

2025 JAF SUGO CIRCUIT TRIAL CHAMPIONSHIP Rd.1



主催：株式会社菅生／菅生レーシングスポーツクラブ（SRSC）

2025 SUGO Champion Cup Race Series Rd.2

JAFもてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第2戦/2025 S-FJ シゃハリーグ 第2戦

公式予選 正式結果表

START : 8:45:00

FINISH : 9:06:49

2025.05.11		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)			天候：晴れ	コース状況：ドライ		発表	
Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	BestTime	Ave. Km/h	Laps	Behind
1	57		中村アンスム	KKS II	ファーストステージ KKS II	1'28.043	146.649	6/ 8	
2	22		酒井 翔太	KK-S II	ファーストステージ 制動屋	1'28.181	146.419	6/ 8	0.138
3	14		松原 将也	RD10V	ZAPMARUTOKU10VED	1'28.206	146.378	7/ 8	0.163
4	82		三ツ井 光輝	KK-S II	群馬トヨタTeam RiNoA ED	1'28.305	146.214	3/ 9	0.262
5	6		吉田 馨	KKS2	TAKE first kks-2	1'28.307	146.210	6/ 8	0.264
6	53		石井 大雅	KK-S II	ファーストステージ 制動屋S II	1'28.435	145.999	8/ 8	0.392
7	3		KODAI YOSHIDA	KKS II	T's TECHNO RF KKS II	1'28.746	145.487	8/ 8	0.703
8 ※	36		小林 留魁	RD10V	7<新潟第一>GIAED	1'28.872	145.281	6/ 8	0.829
9	43		五十嵐 文太郎	KK-S2	Draco CORSE	1'29.153	144.823	7/ 8	1.110
10	81		小野 大地	KKS-2	群馬トヨタTeam RiNoA ED	1'29.232	144.695	7/ 8	1.189
11	38	G 1	畠山 泰三	KK-S2	Hobbybase&zap-ED	1'29.887	143.640	8/ 8	1.844
12	33		磐上 隼斗	KKS2	7<レックス>富士吟景withGIA	1'30.533	142.615	6/ 7	2.490
13	15		松下 彰臣	RD10V	Abel HOSH&PARM zap 10v ED	1'30.682	142.381	6/ 8	2.639

----- 以上予選通過 -----

参加台数：13台 出走台数：13台

予選通過基準タイム (130%) 1'54.586

赤旗中断 8:51:11~8:58:00

JAFもてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第2戦/2025 S-FJ シゃハリーグ 第2戦
決勝 正式結果表

START : 12:48:15

FINISH : 13:06:03

2025.05.11		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)			天候：曇り	コース状況：ドライ		発表	
Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	Laps	Time	Delay Ave.km/h	Fastest Lap
1	22		酒井 翔太	KK-S II	ファーストステージ 制動屋	12	17'48.934	144.945	1'27.712 R 9
2	6		吉田 馨	KKS2	TAKE first kks-2	12	17'53.160	4.226 144.374	1'27.898 9
3	53		石井 大雅	KK-S II	ファーストステージ 制動屋S II	12	17'55.141	6.207 144.108	1'27.789 12
4	43		五十嵐 文太郎	KK-S2	Draco CORSE	12	18'04.773	15.839 142.829	1'28.875 10
5	3		KODAI YOSHIDA	KKS II	T's TECHNO RF KKS II	12	18'04.943	16.009 142.806	1'28.766 10
6	57		中村アンスム	KKS II	ファーストステージ KKS II	12	18'05.457	16.523 142.739	1'27.901 9
7	82		三ツ井 光輝	KK-S II	群馬トヨタTeam RiNoA ED	12	18'08.063	19.129 142.397	1'28.298 12
8	14		松原 将也	RD10V	ZAPMARUTOKU10VED	12	18'09.717	20.783 142.181	1'28.363 12
9	36		小林 留魁	RD10V	7<新潟第一>GIAED	12	18'11.160	22.226 141.993	1'28.928 12
10	38	G 1	畠山 泰三	KK-S2	Hobbybase&zap-ED	12	18'23.625	34.691 140.389	1'30.461 12
11	15		松下 彰臣	RD10V	Abel HOSH&PARM zap 10v ED	12	18'25.852	36.918 140.106	1'30.674 12
12	33		磐上 隼斗	KKS2	7<レックス>富士吟景withGIA	12	18'55.903	1'06.969 136.400	1'32.266 5
----- 以上完走 -----									
	81		小野 大地	KKS-2	群馬トヨタTeam RiNoA ED	8	12'16.810	4 Laps 140.187	1'29.097 5

参加台数：13台 出走台数：13台 完走台数：12台

Fastest Lap : 22 酒井 翔太 1'27.712 9/12 147.202km/h

